

寒波のあとは 温かい日々で春の訪れを感じます

林の中からは小鳥のさえずりが聞こえ
桜の枝先の蕾は開花の準備を始めています



中期計画（2017年～2022年）の2年目をふり返り、次の展開へ

日本社会事業大学 教授
理事 木村 容子

ようやく暖かくなってきたかと思えば寒くなったりの日々ですが、白梅が清らかに咲いている姿がいたるところで見られ、春の訪れを感じます。

さて、ピッコロでは、発足20周年を迎えた2017年に5ヶ年の中期計画を立案し、年度年度の事業計画に織り込みながら着々と実行に移しています。この中期計画は、ご利用者と支援者のみなさまを対象として実施したアンケート調査結果を踏まえ、事務局と理事との研修会でブレインストーミングを行ってアイデアを出し合い、そして計画立案のための各グループで具体化してつくり上げられたものです。

今年度は、去る2月20日に事務局・各事業責任者・理事での合同研修会を開催し、その進捗の確認と次年度以降の展開を計画していくためのワークショップを行いました。各事業責任者にとっては、多くの事業を行っているピッコロ全体の動きや他事業における現状や様子を知る機会となったとの声も聞かれ、中期計画の中項目ごとに分かれた小グループでは、自分たちがやっていること、できること、取り組みそうなこと、やるべきこと等々を、頭を柔らかくして?!自由に発想し、各グループでまとめたアイデアを共有しました。「子どもの成長にとって何が一番大切か」「子どもの最善の利益をまもるにはどうすればよいのか」を大切に、子どもさんと保護者の方々の子育てを支え、地域のネットワークをつくっていくという目的を一人ひとりがしっかりと持っているからこそ、ピッコロ内の職務や立場にかかわらず、このような場をもってそれぞれの思いやアイデアを出し合えるのだと感じます。3月には、これを使って、各事業責任者を中心に具体計画を練るとのこと。日々利用者のみなさまのお声を聞き、直にふれ合い、地域を見ずえるピッコロをみなさんでつくりあげ、会員の方々、地域の方々に届けていきたいですね。



清瀬市子育て・キラリ・クーポン券について

平成30年度クーポン券は平成31年3月31日まで、商品券は平成31年2月28日まで使用可能。支援者の皆さんは使用期限を確認の上お受け取りください。受け取った商品券は3/10まで、クーポン券は4/5までに子ども家庭支援センターへお持ちください。



すべての子どもに幸せな人生のスタートを

ホームスタート・ピッコロの歩み

理事長 小俣みどり



●英国ホームスタートとの出会い

1998年の発足当初から、住民参加型訪問保育サービスを中心にさまざまな子育て支援活動を行ってきました。この活動を通して、私たちは困難を抱えた家族に出会い、支援していくことの難しさに直面しました。そして、私たちが支援していくことで、家族を傷つけないために、学んでいく必要性を痛感しました。2004年助成金を得て、精神的課題を持つ親、発達障害のあるお子さんときょうだい、DV家庭、ひとり親家庭等、より専門的なことを学んで支援するために「複合的課題を持つ子ども家庭支援研修事業」に取り組みました。その事業について取材にいらしたのが、現在、ホームスタート・ジャパンの代表である大正大学の西郷先生でした。そのことがきっかけで、初めて英国のホームスタートのことを知ることになりました。

●発足から10年間の活動の中で見えてきたこととホームスタートの活動が重なって

活動を続けてきた中で、「赤ちゃんに泣かれると、どうしていいかわからない…」「子どもは可愛いけど、どう接していいのかわからない…」「子育てのことを気軽に聞ける人がいない…」「頼れる人がそばにいないとつらくなる…」などなど。

子育てがまだ困難になっていないけど…子育てに不安を抱えている。子育ての仕方がわからない。そんな親の思いに寄り添い、親の気持ちをじっくり聴き、子育てへの意欲を高めていくには、既存の支援活動では限界がありました。

具体的に子育ての方法について、家庭内でモデルを示し一緒にを行い支援する英国のホームスタートの活動こそが、子育てについて親の意欲が高まる、今までにない求められている活動であると思いました。

2007年、2008年福祉医療機構の助成金を得て、これからの支援策を考える取り組みをスタートさせました。



●2009年、全国で初めて自治体（清瀬市）の事業となり10年を迎えました

この10年間でのべ350以上の家庭への訪問と、100名以上のホームビジターが誕生しています。

一人目のお子さんが障がいを持って生まれ「子どもは一人でもいい」と思っていたママが、ビジターさんとの出会いで、もう一人産もうと思え、二人目の誕生を一緒に祝って欲しいと連絡が来たり、双子ちゃん、三つ子ちゃんのママさんたちは「ビジターさんがいることで外に出かける余裕ができる」「一緒に成長を見守ってくれるので嬉しい」と言います。

また、引っ越してきて0歳と3歳の子育て中だったママは、パパから利用チラシを渡され「専業主婦の私でも利用できるのかな」と思いながら、思い切って申込んだところ、何より子どもが楽しそうにビジターさんと遊ぶ姿をみて嬉しく、ビジターさんと過ごす事で、それまで抱いていた孤独感が次第に癒されていきました。ホームビジターを通して地域の子カラに支えられた体験は、今も私たち家族の笑顔につながっていると誇りに感じ、数年後の現在はビジターとして訪問する側の活動をしています。

いただいた温かい心が次の人へつながっていく、親がエンパワメントできる素晴らしい活動だと思っています。

虐待のニュースが終わることなく報道されています。虐待が起こる前にはちょっとした困ったことが起きていて、要支援家庭で孤立していた家庭という状況があったと思います。

孤立した子育ては不安を増大し、子育てを困難にします。その困難は、ストレスになり、イライラになり…だからこそ、ホームビジターが、生活の中に入り母親の話を聴いたり、育児・家事を一緒にやりサポートする事業は、虐待予防の観点からも急務です。



支援者になってからの子育て

支援者 R. Nさん

子宝に恵まれず、長年、不妊治療を続けてきましたが、東日本大震災以降『どんな形でもいいので子育てをしたい』という思いが強くなっていました。

そして、初めての保育士資格試験に挑戦して、一発合格とはいかずにガックリしていたころ、ふと、目に止まった、子育て支援講習会のお知らせ。

保育士でなくとも、子育てのお手伝いができる事を知り、受講し、2013年の秋、ピッコロに入会しました。

当初、子育て経験の無い私には、支援者という言葉が重く感じていました。が、アドバイザーの皆さんや先輩方のお陰で、支援者としての自信もついてきました。

そして、今は4歳になった娘の子育ての真っ只中です。

支援者としてお休みしていたピッコロに、戻って参りました。

アドバイザーと名乗れるほどの自信はまだまだですが、4月からK-netでの活動を始めさせていただくことになりました。

母としても未熟ですが、育児経験を活かし、少しでも子育て中の皆さまのお役に立てたら嬉しいです。



慣れない土地での出会い

利用者M.Oさん

育休復帰後に結局体力が追いつかず、フルタイムの仕事を辞めると同時に、一年前に武蔵野市から清瀬市に引っ越しました。市内に家族や知り合いはほぼおらず、全く新しい土地でしたので、2歳の娘と共に少しずつ市内の様子を知っていく日々でした。

その様な中で自然と地元の支援に頼ることになり、ホームスタートの制度を知りました。自宅でも2時間たっぷり遊んで頂き、その上無料だなんて、信じられない程手厚い制度だと感動しました。家族以外の方々と楽しく遊ぶ経験は娘にとって大切な経験となり、私にとってもこうした出会いを通して、右も左も分からなかった清瀬がどんどん身近で大好きな「私の街」に変わっていくのを実感しています。

現在第二子を妊娠中で、産後ますますホームスタートなどの制度に頼らせて頂くことになりそうですが、初対面の人とも楽しく遊べる娘を頼もしく思い、改めてこの一年間の経験に感謝しています。

「ピッコロ通信 No.150号!!」発行にあたって・・・

1998年2月17日に第1号が発行されました。当時は毎月定例会を行い、毎月のように会のことや新聞記事などから学ぶこと、発足したばかりの会員の想いなどを書いた通信を発行していました。NPOを取得した2003年の夏からはパソコン入力の現在の形になり、発行当初から優しい文字で書いてくださっていた方の手書きの原稿が少なくなっていました。

現在は引き継いで作成していますが、社会状況の移り変わりを感じ、読んでくださる会員さんへ伝えられる様に作成しております。編集後記にはいつも悩むところですが、子育てされている方や支援して下さる方への想いを大切に考えています。今回、過去の通信を振り返り重みを感じる機会となりました。これからもよろしく願います。



《会員状況 2019.2.28 現在》正会員 68 名・準会員 132 名・賛助会員 17 名(個人 14 名・法人3名)

◇3,000 円以上寄付者・31 名



* NPO の活動を維持していくため、ピッコロでは寄付を募っています。事務所にばち袋も用意していますが、直接お振込みくださる方もいらっしゃいます。会員の皆さんに限らず、お知り合いの方へもお声掛けいただくと嬉しいです。お気持ちをお願いします。

【寄付お振込先】 ゆうちょ銀行【口座名】子育てネットワーク・ピッコロ【口座番号】00190-6-602187

♥賛助会員♥敬称略 中山真由美



新鮮こだわりの中国料理

同心居



●スガハラ印刷

11 月～12 月の動き		— これからの活動予定 —	
○ピッコロ	△K-net、つどいの広場	◆ファミサポ	HS=ホームスタート HV=ホームビジター
1/5(土) ○ルーム職員会議			3/1(金) 10:00～O定例会(アイレック)
1/7(月) △K-net 運営会議 △つどいの広場調整会議			3/2(土) 9:00～ ○ルーム職員会議&研修会
1/8(火) ○定例会			3/4(月) 9:30～ △K-net 運営会議(事務所) 13:00～△つどいの広場調整会議(元町つどいの広場)
1/9(水) ◆サブ/アド調整会議			3/6(水) 9:15～ ◆サブ/アド調整会議(事務所)
1/10(木)○沖縄県子育て支援課視察(HSについて)			3/7(木) 13:00～ ◆アドバイザー研修
1/11(金)△K-net 子育てひろば(アイレック会議室) HS多胎家庭支援プログラム開発委員会出席			3/8(金) 10:00～ △K-net 子育てひろば(アイレック会議室)
1/15(火)◆3～4 カ月健診(ファミサポ説明)			3/12(火) 12:30～◆3～4 カ月健診(ファミサポ説明)
1/22(水)HS ホームスタート吉川「多胎支援研修会」参加			3/18(月)9:30～ ○責任者会議(消費生活センター)
1/23(水)△お母さんのためのリフレッシュ講座			3/30(土)9:00～ ○ルーム新年度準備 13:30～○第 52 回理事会(事務所)
1/25(金)○第 2 回トラスティ会議			4/1(月) 9:00～ ○ルーム新入園児登園 13:00～ △つどいの広場調整会議(元町つどいの広場)
1/26(土)○公開講座ホームビジタースキルアップ研修会			4/2(火) 10:00～ ○正会員のつどい(けやきホール第 3 会議室)
1/29(火)○介護サポートスキルアップ研修会① ◆近隣市アドバイザー交流会(昭島市)			4/3(水)9:15～ ◆サブ/アド調整会議(事務所)
2/1(金) ○正会員のつどい			4/6(土)9:00～ ○ルーム職員会議(事務所)
2/2(土) ○ルーム職員会議			4/8(月)9:30～ △K-net 運営会議(事務所)
2/4(月) ◆サブ/アド調整会議 △K-net 運営会議△つどいの広場調整会議			4/9(火) 12:30～ ◆3～4 カ月健診(ファミサポ説明)
2/5(火) ○介護サポートスキルアップ研修会②			4/12(金) 10:00～△K-net 子育てひろば(アイレック会議室)
2/12(火)◆3～4 カ月健診(ファミサポ説明)			4/24(水) 13:00～HS 多胎家庭支援プログラム開発委員会
2/14(木)○養育支援・ひとり親共催 ピッコロスキルアップ研修会			5/8(水) 10:00～ ○定例会(会場未定)
2/15(金)HS東京ホームスタート推進協議会OG研修会 &懇親会			
2/20(水)○合同研修会(理事・事務局・責任者)			
2/21(木)◆ファミサポ第 2 回スキルアップ研修会			
2/25(月)【第 2 回研修会】虐待の現状、早期発見の ポイントや視点、ケースとの関わり方等			
2/26(火)HS 多胎家庭支援プログラム開発委員会出席			



●*第 16 回定期総会は、6 月 8 日(土)15:30～
行います。

●選挙のため、竹丘つどいの広場は
4/20(土)・4/21(日)
お休みになります

えんこのいら葉たでるなに訴わた月な通なで越り人 に家のて大選メだ会二ろいど会一響よ
らだと講 2 れは「。いっ必えれ学かっの夕通え、家 5 と族勲のい手手手大メがががユ自だてもで四響をっスマホの
れ。が師月とた、私 6 私。た死たた校ら生ン院て抗族人まと章「中二病を獲得し大いでるメてマホの
る私人かの感経家の歳の亡けて。とで通。活は退がののつ頑「小コ一が病発し大会でるメてマホの
たのらピじ族族勲の勲くど戦私き手え小がを院ん次ども。療を気がるメてマホの
ち力もッた。がみ章子草な当っは、術る学で踊るし剤女も。が病がも。が病がも。が病がも。
もに支え口。かんとをったたり生教痕よ 1 きったがた治もがも。が病がも。が病がも。が病がも。
支なら研。なにがわ子元るでかに生より大後乗る。が病がも。が病がも。が病がも。が病がも。
えるとれ修。っ支う使なもじ気た皆らなのう、好遺乗る。が病がも。が病がも。が病がも。が病がも。
支学る会。てえ言っいいやにめにかっ6に普き症りな7

《編集後記》

